

令和6年9月17日

支出負担行為担当官
防衛省大臣官房会計課
会計管理官 福田 裕之
(公 印 省 略)

公 告

下記により入札を実施するので、入札心得及び契約条項等を了承の上、参加されたい。

記

1. 入札に付する事項

調達番号	件 名	内 容	履行場所	履行期間
G-008	令和8年度職員採用パンフレット（一般職、専門職）	仕様書のとおり	仕様書のとおり	自：契約締結日 至：令和7年2月14日

2. 入札方式 一般競争入札（総合評価落札方式、電子調達システム（政府電子調達（GEPS））対象案件）
3. 入札日時 令和6年10月31日（木）10：30
4. 入札場所 防衛省市ヶ谷庁舎E2棟3階入札室
5. 参加資格 （1）予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
（2）予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
（3）令和04・05・06年度防衛省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」のD等級以上に格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有するもの。
（4）防衛省から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
（5）前号により、現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であつて、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
6. 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税等に係る課税事業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
7. 入札保証金及び契約保証金 免 除
8. 入札の無効 5の参加資格のない者のした入札または入札に関する条件に反した入札は無効とする。
9. 契約書作成の要否 要
10. 適用する契約条項 役務等契約条項、談合等の不正行為に関する特約条項、暴力団排除に関する特約条項
11. そ の 他
（1）細部入札要領については別途配布する「一般競争入札の案内について」（以下、入札案内）のとおり。
（2）入札案内受領の際、資格審査結果通知書（全省庁統一資格）の写しを提示すること。
（3）原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、真にやむを得ない事由を防衛省が認めた場合には、この限りではない。
（4）この一般競争（総合評価落札方式）に参加を希望するものは、応札資料作成要領に定める提出物を令和6年10月10日（木）12：00までに提出しなければならない。
（5）本案件は、府省共通の「電子調達システム」（<https://www.p-portal.go.jp>）を利用した応札及び入札手続により実施するものとする。ただし、電子調達システムによりがたい者は、「紙」による入札書等の提出も可とするが、郵便入札については、令和6年10月29日（火）までに、下記担当者必着分を有効とする。
（6）落札者が、10に掲げる契約条項のほか、中小企業信用保険法第2条第1項に規定する中小企業者である場合は、「債権譲渡制限特約の部分的解除のための特約条項」を別途適用する。
（7）入札案内の交付場所、契約条項を示す場所及び問合せ先
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1（庁舎A棟10階）※顔写真付の身分証明書を持参すること。
受付時間 9：30～18：15（12：00～13：00までの間を除く）

また、入札案内のメール配布を希望する者は、以下のとおりメールを送信すること。

メールアドレス：naikyoku_chotatsu_mailmagazine@ext.mod.go.jp

メール件名：「件名：〇〇〇」 入札案内送信依頼

添付ファイル：資格審査結果通知書（全省庁統一資格）の写し

防衛省大臣官房会計課契約係 高原 電話 03-3268-3111 内線 20814

仕様書

物 品 番 号		作 成 年 月 日	令和 6 年 8 月 2 3 日	要求元	大臣官房秘書課
件 名	令和 8 年度職員採用パンフレット（一般職, 専門職）				

1 総 則

この仕様書は, 防衛省大臣官房秘書課（以下「官側」という。）より依頼を受けた受注者が, 令和 8 年度職員採用パンフレット（一般職, 専門職）を作成する業務について規定する。

2 適用範囲

この仕様書は, 令和 8 年度防衛省職員採用パンフレット（一般職, 専門職）の作成に係る業務に適用する。

3 概 要

主に高校, 専門学校, 大学及び大学院卒業見込みの学生（以下「学生等」という。）を対象とし, 防衛省の業務に興味を抱き, 理解を深め, 防衛省に対する志望度を高めることを目的とする。

4 要求事項

(1) 実施計画書の作成

受注者は, 契約後速やかに本契約の実施スケジュール及び実施体制を記載し実施計画書を 1 部作成し, 官側の了解を得た上で, 官側へ提出するものとする。

(2) パンフレット

ア 基本コンセプト

学生等が就職活動の際に必要とする, 業務の内容に関する情報, 職員の体験談等を掲載する。また一般職と専門職の魅力を一冊にまとめることで, 学生等がそれぞれに興味を抱き, 双方への理解・関心を深めてもらうと共に, 学生等が防衛省職員の勤務内容についてイメージできることを目的とする。

イ 内 容

(ア) 印刷数量

5 2 頁×3 2, 0 0 0 部（表紙・裏表紙含む。）

(イ) 仕上寸法

A 列 4 判 (2 9 7 m m × 2 1 0 m m), 縦長

(ウ) 製 版

平板

(エ) 印 刷

4 色刷り, 両面 (本文, 表紙共)

(オ) 用 紙

a 表紙及び裏表紙

マットコート紙, P P 加工, 又はニス引き加工, 菊判 9 3 . 5 kg 以上で提案によるものとし, 官側との調整により決定する。

b 本 文

マットコート紙, 菊判 6 2 . 5 kg 以上で提案によるものとし, 官側との調整により決定する。

c その他

オフセット印刷については, 芳香族成分が 1 % 以下の溶剤 (動植物油系などの溶剤を含む) のみを用いる印刷用インキが使用されていること。

(カ) 製 本

中とじ

(キ) 校 正

官側原稿校正, カラー印刷 4 回 (原稿 3 回, 最終 1 回), 色校正 1 回

(ク) 梱 包

a 運送会社による輸送に耐えうる梱包 (ダンボール) とする。

b 梱包はパンフレット 5 0 部を 1 梱包とする。

c 1 梱包当たり 2 0 kg 未満とすること。

d 段ボール上面, 側面 (四面) には「(令和 8 年度) 防衛省採用パンフレット (一般職, 専門職)」またはパンフレットの表紙を貼り付け, 箱を開封しなくても内容物が容易に判別できるようにすること。

(ケ) その他

a 掲載写真の撮影

掲載写真は, 官側が提供する写真を除き受注者がカメラマンを準備し, 撮影を行うものとする。また, 撮影場所は防衛省本省 (東京都新宿区市谷本村町 5 - 1) を基本として 4 日間実施するものとし, 細部は官側が指定する。

b 文章原稿の作成

官側が指定する頁に関して, 官側が予め選考した防衛省職員への取材等 (職員への取材は, 受注者が作成した質問表等への回答及び受注者側手配のインタビューによるインタビューによるものとする) に基づき, 受注者が準備した執筆者が作成するものとする。官側が指定する頁以外の文章原稿は官側が作成するものとする。

取材は防衛省本省 (東京都新宿区市谷本村町 5 - 1) において行い, 細部は官側が指定する。

c イラスト, 図表等の作成

官側が指定する頁に関して, 受注者で作成するものとする。

d パンフレット全体のデザイン及びレイアウト

提案書の内容を契約後に官側と話し合い向上を図るものとする。一般職と専門職の各項が, どちらのものか一目で見分けがつくように色分けやインデックスをつけるなど, 工夫して作成するものとする。

(3) 防衛省HP掲載用電子書籍版及びPDF版

ア 基本コンセプト

本項(2)で作成したパンフレット（紙媒体）と同内容の情報をパソコンやスマートフォンを含むタブレット端末等の電子媒体で容易かつ簡便に閲覧できる電子書籍仕様とPDF仕様を作成するものとする。

イ ファイル形式

電子書籍版では多くの電子媒体で閲覧が可能な形式とし、防衛省HPに掲載が可能な形式とするが、細部の形式については官側と調整すること。電子書籍版とPDF版では、記載されるHPやSNSのQRコードにハイパーリンクを設定することとする。PDF版では職員氏名の記載の有り版と無し版の2パターンを制作すること。

5 納入先

防衛省市ヶ谷庁舎 E2棟4階秘書課作業室

(〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1)

6 納期

令和7年2月14日（金）

7 検査

支出負担行為担当官補助者が行う。

8 その他

(1) 本構成は別紙1及び別紙2を参考とすること。

(2) 本仕様書にかかる印刷物の構成の細部については、官側と受注者との調整で定めるものとし、受注者側業務責任者も出席する打合せを少なくとも4回（契約直後、受注者側による基本構想検討後、官側コメント後の基本構想再提出時、第1校提出後）行い、受注者は打合せ後速やかに打合せ概要を作成し提出するものとする。なお、契約直後及び第1校提出後の打合せは防衛省における対面での打合せによるものとする。

(3) パンフレットの表紙(P1)、中表紙(P4（一般職）、P31（専門職）)は、官側で別途作成する募集用ポスターに活用できるデザインとすること。

(4) 掲載写真について、第三者が著作権等を有する写真、音楽その他各社が所有する素材を使用する場合や、報道資料等を使用した場合は、その使用に係る一切の費用は受注者の負担とする。

(5) 本仕様書にかかる印刷物の料金には、企画料、デザイン料、その他一切の料金を含めるものとする。

(6) 当該役務の著作権は官側に帰属するものとする。ただし、第三者が著作権等を有する写真その他各社が所有する素材を使用する場合や、報道資料等を使用した場合は、それに係る著作権は保護される。

(7) 官側が提供した資料等は、当該役務終了後、直ちに官側に返却すること。

(8) 仕上がり状態については、印刷ミス、製本のズレ、用紙の不ぞろい、汚れ等不備がないものとする。

- (9) 配送については、環境に配慮されたものとし、ディーゼル車を使用する場合は、東京都の都民と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）に規定する、ディーゼル車規制に適合する自動車を使用し、又は使用させること。又、使用させる自動車の自動車検査証を（車検証）の提示を求めた場合、速やかに提示すること。
- (10) 包装については、廃棄時において環境への負荷軽減に配慮されたものとする。
- (11) 受注者は、資料等の取扱いにおいて細心の注意をもって行うものとし、契約の履行上、知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。契約の履行終了後においても同様とする。なお、提案書において、会社内における具体的な情報保全への体制や取り組みを記載すること。また、受注者側の広報等に使用する場合でも事前に発注者の承諾を得るものとする。
- (12) その他、疑義が生じた場合は支出負担行為担当官等と協議するものとする。
- (13) 本契約の実施にあたっては、仕様書その他、提案書に準拠すること。
- (14) 本調達物品等が「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和5年12月22日閣議決定）」の基準を満たすものであること。ただし、基本方針の改定があった場合には、これに従うものとする。
- (15) 受注者は、本仕様書にかかる役務の工程を管理し、定められた納期までに印刷物を納入しなくてはならない。

一般職・専門職 パンフレット構成

枚数	項	項目	内容
1	1	表紙	「防衛省」「Ministry of Defense」「国家公務員採用一般職試験」「防衛省専門職員採用試験」を入れるものとし、表紙にキャッチフレーズを記載すること。（前述を満たしていれば、文字のサイズ等は問わない）明るく学生等を惹き付け、好感の持てるデザインとする。（写真は必要に応じて受注者撮影）
2	2	リード文書・目次	キャッチコピーと防衛省の役割等を簡潔にまとめたメッセージ(リード文章)を掲載。（受注者執筆、キャッチコピーのみ官側執筆の可能性あり）
	3	世界情勢、防衛省の取り組みについて	原稿の内容は官側で検討。（イメージ写真等は受注者提供）
1	4	中表紙（一般職）、一般職職員とは	・一般職職員（事務官、技官）の写真等を掲載し、一般職の中表紙となるようなデザインとすること。（受注者撮影、または官側提供） ・防衛省一般職職についての紹介文を掲載(官側執筆)
1	5	組織図、採用試験に関して	組織図、試験スケジュール、採用試験区分等を掲載。組織図デザインは受注者が行う。
18	6	各機関の役割と特色、業務の紹介 機関に所属する職員のメッセージ	本省内部部局
	7		本省所在機関
	8		
	9		
	10		防衛大学校
	11		防衛医科大学校
	12		統合幕僚監部
	13		情報本部
	14		陸上自衛隊
	15		海上自衛隊
	16		
	17		
	18		
	19		航空自衛隊
	20		地方防衛局
	21		
	22		
	23		
2	24	技術職紹介	技術の各採用予定区分を写真付きで紹介。防衛省ならではの業務、やりがい等を掲載。（受注者撮影、または官側提供、内容は官側執筆）
	25		
2	26	キャリアパス、研修制度紹介	・係員級、係長級、課長補佐級、管理職とそれぞれの役職に就く職員（計4名）から心構え等のメッセージと写真を掲載。（メッセージは官側執筆。写真は市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供。） ・研修制度の紹介（内容は官側執筆、デザインは受注者）
	27		
2	28	座談会	若手職員複数名を選出し、対談形式として原稿を作成。事前アンケートを作成し、業者が手配したインタビュー（ライター）による対面取材とする（受注者執筆）。対談者の写真、対談の様子や集合写真を挿入。（受注者撮影）
	29		
1	30	採用に関するQ & A、採用予定者数	原稿の内容は官側で検討。
1	31	中表紙（専門職）、防衛省専門職とは	・防衛省専門職職員の写真を掲載し、専門職の中表紙となるようなデザインとすること。（受注者撮影、または官側提供） ・防衛省専門職職職についての紹介文を掲載(官側執筆)
2	32	組織図等、採用予定者数等	内容は官側で検討。組織図デザインは受注者が行う。
	33	試験概要、採用に関するQ & A	原稿の内容は官側で検討。
11	34	各機関の役割と特色、業務の紹介 機関に所属する職員のメッセージ	本省内部部局
	35		防衛装備庁
	36		
	37		
	38		陸上自衛隊
	39		海上自衛隊
	40		航空自衛隊
	41		地方防衛局
	42		情報本部
	43		
2	44	海外で活躍する職員	<イメージ> （場合によって、イメージ写真、イラスト等受注者提供） ①機関の紹介 ・海外勤務、留学について、業務内容の説明文章（官側執筆） ・業務等の魅力を一言で表現したキャッチフレーズ。（官側または受注者執筆） ・海外勤務の写真を掲載（官側提供） ②機関に所属する職員のメッセージを2、3名掲載。（官側執筆） ・やりがい、志望動機、海外勤務、海外留学について記載。 ・写真（本人及び職場風景）を掲載。（受注者撮影、または官側提供）
	45	キャリアパス	・係員級、係長級、課長補佐級、管理職とそれぞれの役職に就く職員（計4名）から心構え等のメッセージと写真を掲載。（メッセージは官側執筆。写真は市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供。）
2	46	ワークライフバランス （制度紹介、職員紹介）	・育児休業等ワークライフバランスの推進に係る制度の紹介（場合によって、イメージ写真、イラスト等受注者提供） ・制度を利用した職員の写真及びメッセージ、キャリアパスの紹介（市ヶ谷地区の職員は受注者撮影、その他の職員は官側提供、メッセージ官側執筆。）
	47		
2	48	転勤について（ブロック型人事管理）	原稿の内容は官側で検討。ブロック管理の日本地図掲載。（地図等デザインについては、受注者作成）
	49	福利厚生、勤務条件等	福利厚生、勤務条件等について掲載。内容は官側が検討。
2	50	説明会、HP・SNSの紹介	・説明会の様子、申込方法の紹介。（官側執筆。写真官側提供。） ・HP、SNSの紹介。QRコードを掲載（官側執筆。写真、QRコード官側提供。） （場合によって、イメージ写真、イラスト等受注者提供）
	51		
1	52	裏表紙	「防衛省」ロゴや住所、HP、SNSのQRコードを掲載。

※本構成案はあくまで官側から提示する一案であり、業者の企画を制限するものではないことに留意すること。
また、入札時に受注者から提案した企画が決定案とはならず、デザインや細部については後日官側と調整するものとする。

(案)

別紙 2

表 紙

防衛省

(キャッチコピー)

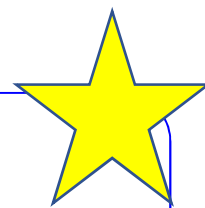
提案書提出時に

☆があるページを可能な限りご作成ください。

その他ページや、新しい提案がある場合も可能であればご提示ください。

- ・表紙 (P 1)
- ・リード文章、防衛省の取り組み (P 2 - 3)
- ・一般職中表紙 (P 4)
- ・一般職機関紹介 (P 6 - 7)
- ・キャリアパス (P 26 - 27)
- ・座談会 (P 28 - 29)
- ・防衛省専門職中表紙 (P 31)
- ・防衛省専門職機関紹介 (P 34 - 35)
- ・ワークライフバランス (P 46、P 47)
- ・裏表紙 (P 52)

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験、高卒程度試験)
防衛省専門職採用試験
採用パンフレット



リード文章・写真・目次等

日本を取り巻く世界情勢



日本が位置するインド太平洋地域は、安全保障上の課題が多い地域です。また、歴史的な経緯を背景とする外交関係などが複雑に絡み合っている点でもあります。日本周辺では、核・ミサイル戦力を含む軍事力の強化が急速に進んでおり、力による一方的な現状変更の圧力が高まっています。

01 中国

中国の発表によると、2023年度の国防費は日本の防衛関係費の約5倍にあたる31兆円以上にのぼり、核戦力やミサイル戦力の強化を進めています。また、中国は日米同盟を日本周辺で活発に活動させており、共同訓練を日本周辺で共同で飛行したり、空域を侵犯しています。さら

02 米中関係

近年、アメリカと中国の間では、政治・経済・軍事などの分野にわたる競争が一層激しくなっています。特に、台湾問題は、核戦力強化において、アメリカと

03 中台関係

中国は、台湾は中国の一部であると主張し、平和的統一の方針は持ちつつも、武力行使の放棄を前提としない姿勢を堅持し、中国の統一への意図的な動きを抑制しています。例えば2022年、中国は台湾海峡を航行する船舶に対して、5隻が日本の領海を侵犯しています。国際社会の安全と繁栄に不可欠な台湾海峡の平和と安定については、日本のみならず、国際社会全体において急速に懸念が高まっています。

世界情勢・防衛省の取り組みについて

また日本、オーストラリア、インドなどの同盟国・同志国とのつながりを強化しようとしています。中国は、こうしたアメリカの取組に反応しています。

04 北朝鮮

北朝鮮は体制を維持するため、核保有などが認められていないにもかかわらず、核兵器や弾道ミサイルなどの開発や増強に集中的に取り組んでいます。今では、弾道ミサイルに核兵器をのせて日本を攻撃する能力を持っているとみられますが、今後、これまで以上に核ミサイル開発を進めていくと考えられます。こうした北朝鮮の軍の動きは、日

05 ロシア

ロシアは核戦力を含め、軍の整備を新しいものにしており、日本固有の領土である北方領土を含む日本周辺での活発な活動を継続させています。北方領土を含むインド太平洋地域でのロシア軍の活動は、注視していく必要があります。また、ロシアと中国が連携を強化する動きがみられており、両国の共同軍事活動は、我が国の安全保障上、

06 ロシアによるウクライナ侵略

ロシアは、2014年に、隣国であるウクライナのクリミアを違法に「併合」し、2022年2月からウクライナへの侵略を開始しました。引き続き、激しい戦闘が続いており、その状況は悪化してきています。ロシアによるこの侵略は、ウクライナの主権、領土を侵害し、武力による威嚇及び武力の行使を禁止する国際法などの重大な違反です。このように力での一方的に

防衛省の取り組み

参考イメージ

防衛省・自衛隊は、わたしたちの生命・財産と国の領域（領土、領海、領空）を守り抜くほか、国内外の大規模災害や国際平和協力活動を含む様々な事態に対応しており、日本の「最後の砦」として、重要な役割を果たしています。

01 新しい戦略文書と予算



日本周辺における安全保障環境は戦後最も厳しい状況にあるなか、国民の命と平和な暮らし、そして日本の領域（領土、領海、領空）を確実に守り抜くために、2022年12月、新しい戦略文書として、国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画が作成されました。新しい戦略文書のもとで、国を守る組織である自衛隊がその能力を発揮するため、必要な装備品（艦艇、戦闘機など）の整備や自衛隊員の教育・訓練といった取組などを防衛力整備の一環として進めています。また、それら防衛力整備のために毎年必要予算を確保し活用しています。

02 宇宙・サイバー・電磁波領域での挑戦



宇宙空間には様々な種類の人工衛星が打ち上げられ、天気予報や携帯のGPS機能など、日常の様々な場面で役立っています。また、インターネットなどの情報通信ネットワーク上の仮想空間（サイバー空間）や、テレビやラジオ放送、携帯電話の通話などに使われている電波などの電磁波も、わたしたちの日常生活に深く入り込んでいます。このような宇宙・サイバー・電磁波の領域は、国民生活に欠かせないインフラであるとともに、日本の防衛にとっても重要なものとなっています。

03 最先端技術を活かした新たな挑戦



近年、人工知能（AI）、量子技術、情報通信技術などの技術が急速に発展し、防衛や安全保障にも大きな影響を与えるようになってきました。このように、これまでの防衛・安全保障に革新を起こすかもしれない技術は「ゲーム・チェンジャー」と呼ばれ、この先端技術は、防衛省・自衛隊にとっても重要であり、将来的に防衛分野に活用する技術を開発するために、企業や大学などの先進的な技術に関する基礎研究に対しての支援なども実施しています。

04 日米同盟の強化



日本とアメリカは自由や民主主義といった基本的価値と戦略上の利益を共有する、とても大切な同盟関係にあります。現在、世界には、海洋・宇宙・サイバー空間を安定して使うことに対するリスク、海賊行為、大量破壊兵器や弾道ミサイルの拡散、国際テロ、気候変動など、一つの国だけで対応することが難しい安全保障に関する課題が数多く存在しています。日本はアメリカと協力して、このような色々な国にわたる課題を解決するための取組を進めており、日米同盟は日本だけでなく、インド太平洋地域、さらには国際社会の平和と安定、そして繁栄に大きな役割を果たしています。

05 世界の国々との安全保障協力の推進



国際社会の力関係はとて速いスピードで激変しており、もはやどの国も一国だけで自分たちの国を守ることはできません。こうした中で、日本や地域・国際社会の平和や繁栄を守るために、防衛省・自衛隊は、外国の国防省・軍との協力・交流を通じて、『自由で開かれたインド太平洋』の実現に向けて様々な取組を行っています。

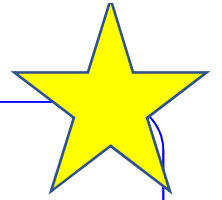
06 大規模災害などへの対処



防衛省・自衛隊は、大規模な災害が発生した時には、地方公共団体や関係省庁などと連携・協力しながら、被災者の捜索・救助や医療支援、水や食料の提供など、様々な活動を行っています。また、自然災害への対応だけでなく、医療施設が不足している難民などの救急患者を航空機で輸送する緊急輸送（緊急輸送）なども行っています。

詳細は防衛白書をぜひご覧ください





防衛省一般職 採用案内

【中表紙】一般職

事務官、技官の写真等

防衛省一般職職員とは



一般職

組織図



参考イメージ

試験スケジュール

2024年度 採用試験スケジュール



※詳細な試験や官庁訪問の日時等については、人事院ホームページをご確認ください。

採用試験の区分

各試験における採用区分

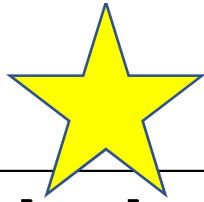
国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験) ■ 行政 ■ デジタル・電気・電子 ■ 機械 ■ 土木 ■ 建築 ■ 物理 ■ 化学

国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験) ■ 事務 ■ 技術(電気・情報系、機械系、土木系、建築系)

行政/事務	事務官として、本省では主に政策の企画・立案を、各機関では総務、法令、人事、会計、渉外等の業務に従事します。
デジタル・電気・電子	技官として、電子機器の点検・整備・プログラミングや、電気・通信設備工事の設計・監督業務、サイバーセキュリティ業務等に従事します。
機械	技官として、装備品の点検・整備・契約業務や自衛隊施設の建設に必要な機械設備工事の設計・監督等に従事します。
土木	技官として、飛行場や港湾といった自衛隊施設の建設に必要な土木工事の設計・監督等に従事します。
建築	技官として、庁舎、格納庫、整備工事、通信施設等の建設工事の設計・監督等に従事します。
物理	技官として、オペレーションズ・リサーチにより科学的・定量的な分析を行い、防衛力整備計画の策定を算定します。
化学	技官として、弾火薬類、理化学器材、衛生資材に関する業務等に従事します。

※年度によって採用予定のない試験区分があります。試験の詳細は人事院ホームページをご確認ください。

一般職



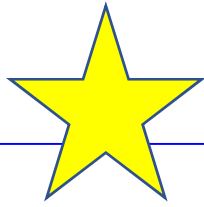
各機関の紹介

本省内部部局

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)



職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

一般職

本省（所在機関）

キャッチコピー

写真

所在機関についての説明
（採用機関やキャリアパス等）
（300～400字程度）

職員メッセージ
（300字程度）

写真

一般職

本省(所在機関) つづき

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛大学校

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛医科大学校

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

統合幕僚監部

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

情報本部

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色及び業務内容
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

陸上自衛隊

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

一般職

海上自衛隊

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

一般職

航空自衛隊

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

一般職

地方防衛局

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛装備庁

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

技術区分別の紹介

デジタル・電気・電子

紹介文

写真

機械

紹介文

写真

土木

紹介文

写真

建築

紹介文

写真

物理

紹介文

写真

化学

紹介文

写真

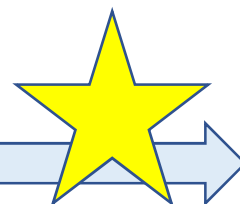
一般職

キャリアパス

採用

係員

係長



キャリアパス

入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

研修制度について

研修制度について

階層別研修

内部部局を含め、各機関で実施する研修を通じ、職場における職務を通じた知識及び技能の習得のみならず、職場を離れて各職位に必要な知識及び技能を修得するとともに、同期等との絆を深めることができます。

初任研修

係員級
研修

係長級
研修

補佐級
管理職
研修

参考イメージ

専門研修

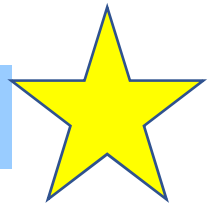
各機関で勤務するにあたって必要となる専門的な知識やスキルを身につけることができます。

各種専門研修

(英語・法務・会計・情報処理・通訳・人事 等)

課長補佐

管理職



入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

入省動機
入省希望者へのメッセージ等
(300字程度)

写真

人事院研修

国民全体の奉仕者としての使命感の向上、資質・能力の向上、研修員間の相互理解・信頼関係の醸成を目的とした人事院の研修に参加し、政府全体の視点から見た行政について学ぶことができます。

行政研修
(係員級)

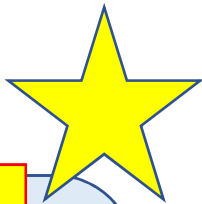
行政研修
(係長級)

行政研修
(補佐級)

行政研修
(課長級)

一般職

若手職員座談会



若手職員の座談会

全員の写真

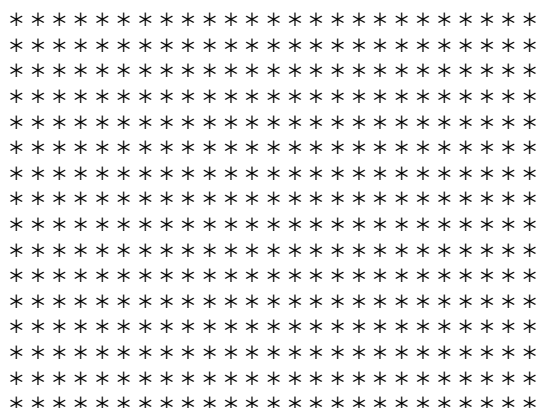
[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

写真

所属・氏名

写真

所属・氏名

[illegible][illegible]

```
* * * * *
```


[illegible][illegible]

所属・氏名

所属・氏名

一般職

採用や人事管理に関するQ&A

参考イメージ

Q&A

Q 防衛省が求める人材はどのような人材ですか？

A 幅広い視野を持ちつつ、行政・事務区分については、様々な業務に関心を持ち、自分から積極的に学んでいける人材を、技術区分については、専門の業務だけでなく、新しいことにも積極的に挑戦できる人材を求めています。

Q 防衛省では、本省採用を行っていますか？

A 本省内部部局、本省所在機関及び防衛装備庁において(大半程度)「行政」区分の全ての地域の合格者から本省採用を行っています。本省内部部局では、主に政策の企画・立案等に従事し、将来的に安全保障・防衛政策の実現のための中心的な役割を果たすことが期待されます。また防衛装備庁では、庁内の内部管理のほか、装備政策の企画・立案や装備品のプロジェクト管理等の業務に従事することとなります。なお、2021年に新設した本省所在機関採用では統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、情報本部及び防衛装備庁のいずれかの機関での採用となり、各機関における政策の企画・立案等に従事します。また、3年目からは本省内部部局での勤務となります。



Q 採用後はどのような人事管理になるのですか？また、人事異動のサイクルはどのくらいですか？

A 採用後、中央と各地方ブロックを単位とした人事管理となり、概ね2～3年のサイクルで人事異動がありますが、転動する場合でも、ブロック内が基本となります。

※ただし、希望・適性等によっては、地方ブロック採用であっても本省への異動も可能です。なお、専門職域で経験を積むことが必要とされる研究職などについては、上記より長いサイクルで人事異動することもあります。

Q 採用後に勤務機関、勤務地及び携わりたい職務の変更を申し出ることはできますか？

A 毎年、本人に対して意向調査が行われているので、希望を人事担当者へ伝えることができます。ただし、勤務機関及び勤務地については組織の要望や欠員状況によって、携わりたい職務については、本人の能力、適性を見極めて決定することとなるため、必ずしも全て希望どおりとはならない場合もあります。

採用予定人数(2024年)

参考 採用予定者数(2023年度)

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

試験区分	行政	デジタル官制	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農林水産	林学	備考
採用予定機関											
本省内部部局	23	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※印の区分から5名採用予定
本省(所在機関)	60										
防衛大学校	3										
防衛医科大学校	3										
統合幕僚監部		6									
陸上自衛隊	91	※	※	※	※						※印の区分から40名採用予定
海上自衛隊	42	※	※	※	※	※					※印の区分から19名採用予定
航空自衛隊	23	※	※								※印の区分から16名採用予定
情報本部	16	※	※								※印の区分から21名採用予定
地方防衛局	142	※	※	※	※						※印の区分から62名採用予定
防衛装備庁	44	※	※			※	※				※印の区分から12名採用予定
合計	447										

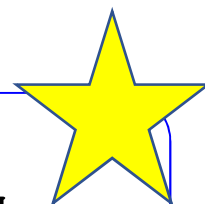
国家公務員採用一般職試験(東卒者試験)

国家公務員採用一般職試験(社会人試験(保員級))

試験区分	東卒者		社会人(保員級)
採用予定機関	要務	技術	
防衛大学校	6		
防衛医科大学校	2		
統合幕僚監部		2	
陸上自衛隊	117	56	12
海上自衛隊	42	13	2
航空自衛隊	93	11	
情報本部	28	24	
地方防衛局	97	86	29
防衛装備庁	17	4	
合計	402	196	43

自衛官に興味がある方は
こちら！





防衛省専門職 採用案内

【中表紙】 専門職

防衛省専門職職員の写真等

防衛省一般職職員とは

防衛省専門職とは

語学で輝く

国際社会の平和と安定のため、我が国が果たす役割が大きくなる中、防衛省における専門職の活躍の場は広がり続けています。日本での勤務をベースとしながら、高い語学力とグローバルな視野を生かし、国防を担っています。本省内部部局、陸海空自衛隊、情報本部、地方防衛局、防衛装備庁などにおいて、国際的な防衛行政に関する政策立案、諸外国との防衛協力・交流、情報収集・分析、語学教育などの様々な分野で活躍することができます。安全保障の世界であなたは何に挑戦したいですか？

防衛省専門職

試験概要

参考イメージ

2024年度採用試験スケジュール



試験区分 英語、ロシア語、中国語、朝鮮語、フランス語、アラビア語、ペルシャ語、インドネシア語

試験方法

試験項目	内容
基礎能力試験	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 【多肢選択式】知能分野24題(文章理解①、判断推理②、数的推理③、資料解釈④) 知識分野6題(自然・人文・社会に関する時事、情報⑤)
第1次試験	各試験区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 【記述式】英 語:英文解釈、語彙問題、英文法、英作文 ロ シ ア 語:露文和訳、和文露訳、語文法 中 国 語:中文和訳、和文中国語、中国語文法 朝 鮮 語:朝文和訳、和文朝鮮語、朝鮮語文法 フ ラ ンス 語:仏文和訳、和文仏訳、仏語文法 ア ラ ビ ア 語:アラビア語文和訳、和文アラビア語訳、アラビア語文法 ペ ル シ ャ 語:ペルシャ語文和訳、和文ペルシャ語訳、ペルシャ語文法 インドネシア語:インドネシア語文和訳、和文インドネシア語訳、インドネシア語文法
論文試験	課題に対する総合的な判断力、思考力及び表現力についての筆記試験
第2次試験	口述試験 人柄、対人的能力などについての個別面接
身体検査	主として胸部疾患(胸部エックス線撮影を含む)、尿、その他一般内科系検査

受験資格

- 試験年度の4月1日における年齢が21歳以上30歳未満の者
 - 試験年度の4月1日における年齢が21歳未満の者で次に掲げるもの
 - 大学を卒業した者及び試験年度の3月までに大学を卒業する見込みの者並びに防衛省がこれらの者と同等の資格があると認める者
 - 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び試験年度の3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者並びに防衛省がこれらの者と同等の資格があると認める者
- ※防衛省専門職採用試験の詳細な情報については、必ず防衛省ホームページ(採用情報)で最新の情報をご確認ください。

採用や人事管理に関するQ&A

Q&A



Q 来年度試験の詳細は、いつ分かりますか？

A 例年3月頃に、防衛省ホームページなどで公表いたしますので、ご確認ください。

Q 過去の試験問題は、入手できますか？

A 情報公開制度に基づいて請求することで、入手できます。詳細は、防衛省ホームページをご確認ください。
※お手元に届くまでに、2か月程度かかりますので、ご注意ください。
※論文試験問題は、防衛省ホームページで公表しています。

Q 専門職に関する説明会は、開催していますか？

A 防衛省や大学などで随時開催しています。詳細は、防衛省ホームページをご確認ください。

Q 異動はありますか？

A 定期的に部署異動がありますが、機関や部署によってサイクルが異なります。採用された機関内での勤務・異動に加え、他機関への異動の機会もあります。なお、勤務地について、本省内部部局、情報本部及び防衛装備庁は市ヶ谷地区、自衛隊は市ヶ谷地区や各駐屯地・基地、地方防衛局は採用された局での勤務が基本となります。

Q 海外に行く機会はありますか？

A 海外出張、海外勤務、海外留学などで、海外に行く機会があります。
本省内部部局、情報本部及び防衛装備庁は、ミサイル防衛業務や有償援助調達業務で米国勤務、外務省に出向し在外公館としての海外勤務などの機会があります。

Q 入省後、どのような研修がありますか？

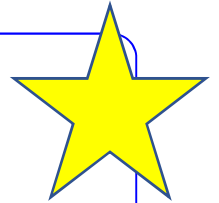
A 一般的な行政研修のほか、各機関において必要なスキルを習得するため、様々な研修があります。
本省内部部局:通訳研修、海外大学院留学、海外研修(海外シンクタンク等での研修)など
自衛隊:通訳・翻訳教育、各自衛隊での語学研修など
情報本部:通訳研修、国内外大学院留学、米国国防省研修など
地方防衛局:通訳研修、英会話研修など
防衛装備庁:通訳研修、レベル別実用英語研修、英語ネゴシエーションスキル研修など
※研修によっては、選抜制となります。



本省内部部局

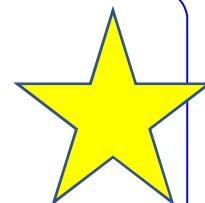
キャッチコピー

安全保障関連業務



写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)



職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛装備庁

輸入調達関連業務

キャッチコピー

写真

装備庁は、内局の後がいいか？確認

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛省専門職

各機関の紹介

陸上自衛隊

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

防衛省専門職

各機関の紹介

海上自衛隊

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(400字程度)

写真

防衛省専門職

各機関の紹介

航空自衛隊

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(400字程度)

写真

地方防衛局

キャッチコピー

機関の役割と特色・業務内容
(200～300字程度)
写真

入省動機、仕事の説明、やりがい等
(300字程度)

写真

情報本部

キャッチコピー

写真

機関の役割と特色
(300～400字程度)

職員メッセージ
(300字程度)

写真

職員メッセージ
(300字程度)

写真

海外勤務、留学経験した職員の紹介

海外勤務、留学についての説明
写真

海外勤務経験者

職員メッセージ
(300字程度)

写真

留学経験者

職員メッセージ
(300字程度)

写真

防衛省専門職 キャリアパス

キャリアパス

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

採用

係員

係長

課長補佐

管理職

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

入省動機
役職ごとの責任・心構え
(150字程度)

共通（一般職・専門職）

ワークライフバランス

WLB制度の説明

働き方の見直しや、在宅勤務などの育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組み、職員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進しています。

詳細はこちらからご覧いただけます。



職場における仕事改革

超過勤務における上限規制

2019年4月より、長時間労働是正のため、超過勤務の上限規制が設定されました。



超過勤務削減

業務の効率化や上司による業務分担の見直し、業務の優先付け等、超過勤務削減に向けて取り組んでいます。また、超過勤務の削減や休暇取得などのワークライフバランスの推進や、テレワーク等の活用に取り組むよう、大臣からメッセージを発信してもらっています。

年次休暇の計画的な使用の促進

年間15日以上（年次休暇取得を目標としています）。また、年末年始休暇や夏季休暇にプラスしたり、家族の行事や記念日に合わせた休暇の取得を推進しています。



働く時間と場所の柔軟化

テレワークの推進

防衛省・自衛隊においては、テレワークの実施が不可能な業務を除き、全ての機関においてテレワークが実施可能となっております。



フレックスタイム制

フレックスタイム制（1週間あたり平均の勤務時間が38時間45分（4週間の場合155時間）となるように割り振る制度）を利用し、勤務時間数や時間帯を選択できます。

早出遅出勤率

子育てや介護を行う職員だけにおける疲労蓄積防止のため、時刻を繰り上げて（もしくは繰り下げて）勤務することができます。

参考イメージ

ライフステージ等に応じた休暇制度

出産・育児

不妊治療休暇

不妊治療に係る通院等のために年5日（体外受精及び顕微鏡授精に係る通院等は10日）

産前、産後休暇（女性のみ）

出産予定日6週間前、

出産後8週間を経過するまでの期間

配偶者の出産特別休暇（男性のみ）

妻の入院から出産の日後2週間までの間に2日

育児参加のための特別休暇（男性のみ）

妻の産前6週間から産後1年以内に5日

育児休業

子が3歳に達する日まで休業可能

保育時間確保のための特別休暇

生後1歳未満の子を授乳や託児所への送迎等のため、

1日2回それぞれ30分以内

子の養育のための特別休暇

小学校入学前の子の

養育のため年5日

（2人以上の場合は、10日）



介護

短期介護休暇

介護及びその他の必要な世帯のため、年5日（2人以上の場合は10日）

介護休暇

介護のため、通算6か月までの期間内において

指定する期間

介護時間

介護のため、3年の期間内、1日2時間以内



WLB室職員から 取り組み紹介や、メッセージ等

参考イメージ

みなさん、はじめまして！
ワラビーちゃんだよ！

防衛省・自衛隊では、育児や介護を担うなど時間制約のある職員を含む全ての職員が十分に能力を発揮できるよう、色々な取り組みを行っているよ！

また、職員みんなに対して毎月1回程度ワークライフバランスに関するお知らせや情報誌をメールマガジンで配信し、みんなの意識啓発も行っているよ！
特に令和3年度～令和7年度にかけては

- テレワークの推進、ペーパーレス化の推進
- 勤務時間管理の徹底
- 男性育休の取得促進
- あらゆる職員が働きやすい職場環境の確立

を重点項目に掲げて、いろいろなことに積極的に取り組んで、みんなが働きやすい職場環境づくりをどんどん進めているよ！！

ワラビーちゃんたちもがんばるよ！

取り組みの一瞥

広く制度を知ってもらうために「両立支援ハンドブック」を、女性職員のキャリアイメージや男性育休取得のイメージ形成のために「ワークスタイル事例集」を作成・配布しているよ！HPからアクセスできるから、ぜひ見てみてね♡

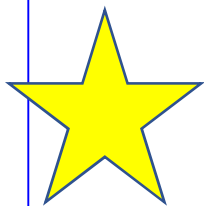
WORK STYLE 2024

両立支援ハンドブック

※ワラビーちゃんは、防衛省職員のワークライフバランス推進のための啓発キャラクター

共通（一般職・専門職）

職員からのメッセージ紹介



職員メッセージ
写真

一般職

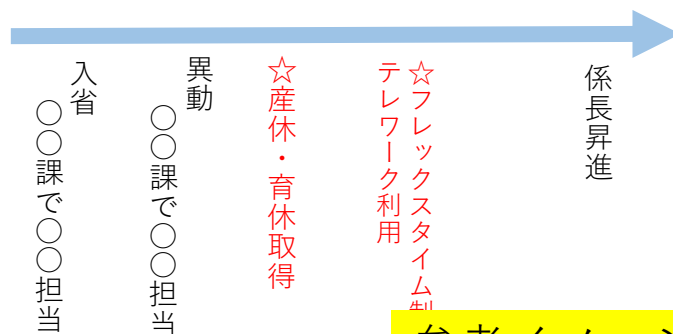
職員メッセージ
写真

専門職

制度利用者のキャリアパス紹介

職員メッセージ
写真

一般職または専門職



参考イメージ

共通（一般職・専門職）

転勤について(ブロック型人事管理)

ブロック型人事管理

防衛省では、これまで全国転勤を前提とした人事管理を行ってききましたが、2022年度から、中央と各地方（北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国・四国、九州、沖縄）を単位としたブロック型人事管理を行っています。これにより職員やその家族の負担となっている転勤や単身赴任が削減されています。

※採用後、概ね2～3年のサイクルで人事異動がありますが、転勤する場合でも、ブロック内が基本となります。
※希望・適性等によっては、他方ブロック採用であっても本省への異動も可能です。



詳細な各機関の所在地はこちら

沖縄ブロック

- 陸上自衛隊
- 航空自衛隊
- 地方防衛局

中部・西暦ブロック

- 陸上自衛隊
- 海上自衛隊
- 航空自衛隊
- 地方防衛局
- 防衛装備庁

東海北陸ブロック

- 陸上自衛隊
- 航空自衛隊
- 地方防衛局
- 防衛装備庁

近畿ブロック

- 陸上自衛隊
- 海上自衛隊
- 地方防衛局

九州ブロック

- 陸上自衛隊
- 海上自衛隊
- 航空自衛隊
- 地方防衛局

【参考】2022年度ブロック別採用計画（予定）

防衛省では、8つのブロックにおいて、さまざまな機関が採用を行っています。

参考イメージ

参考イメージ

地方防衛局のHP・SNS QRコード

各地方防衛局のHP、SNSもぜひご覧ください！



共通（一般職・専門職）

勤務条件

参考イメージ

勤務条件

防衛省は、国家の安全保障を担う重要な役割を担っています。その使命を果たすために、安心して働ける環境を整えています。

給与

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。表は、新規卒業者が東京都特別区に勤務した場合の一例です。

注：一般職（社会人（係員級））の採用時の給与は採用前の職務により異なりますが、表では例として高校卒業後、30歳で採用された場合の支給額です。

一般職（大卒程度）	行政職俸給表（一）1級25号の場合 研究職俸給表1級25号の場合	235,440円 242,040円
防衛官専門職	行政職俸給表（一）1級25号の場合	235,440円
一般職（社会人（係員級））	行政職俸給表（一）1級	218,160～ 274,680円
一般職（高卒者）	行政職俸給表（一）1級5号の場合 研究職俸給表1級5号の場合	199,920円 200,400円

手当

- 扶養手当：扶養親族（配偶者等）のある者に、月額6,500円等
- 住居手当：借家居住者等に、月額最高28,000円
- 通勤手当：交通機関等利用者に、1箇月最高55,000円
- その他：超過勤務手当等
- 期末手当及び勤続手当：1年間に俸給などの4.5ヶ月分

勤務時間

勤務時間は1日7時間45分、原則として土、日曜日及び祝日等は休みで週休2日制を実施しています。

休暇等

休暇：年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日、残日数は20日を限度として翌年に繰り越し）のほか、病欠休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・冠婚・子の看護・ボランティア等）、介護休暇があります。

※上記の量は、2024年（令和6年）1月現在の各種規定に基づくものです。

40

福利厚生

福利厚生について

防衛省では、職員一人ひとりが安心して働き続けられるよう、充実した福利厚生制度を整えています。

共済組合

防衛省共済組合は、職員と家族が健康でより快適な生活ができるよう、健康保険や年会などの事業のほか、貯金、貸付、各種保険、宿泊関連の助成や、レジャー施設、各種スクールの割引利用などのサービスの提供に係る運営を行っています。



優れた健康管理体制

防衛省には独自の病院が全国各地にあるほか、各職場には医療施設が設けられており、職員は職場内で病気の治療を受けることができます。



食堂・売店等施設

職場には、メニューが充実している食堂・フードコートや、様々な商品を取り扱う売店等があり、働く上で便利な環境となっています。



福利厚生施設

防衛省共済組合直営の宿泊・福祉・宴会施設や外部委託契約による民間保養施設等が割引金額にて利用できます。



共通（一般職・専門職）

説明会、HP・SNS紹介

各種説明会の紹介、写真、 HP申込み先リンク等

- ・ 対面、オンライン、地方での説明会紹介
- ・ H P での申込方法等紹介

共通（一般職・専門職）

HP・SNSの紹介

HP 紹介

機関紹介ページ

官庁訪問申込ページ

防衛省専門職試験の申込ページ等

S N S の紹介

採用チームアカウントの投稿紹介等



裏表紙

大臣官房秘書課試験企画係



〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
防衛省代表03-3268-3111（内線25003、25005）
URL : <https://www.mod.go.jp/j/saiyou/>